

文化財に関する基礎資料



文 化 庁

平成29年6月30日

文化財保護法について①

総 論

○昭和24年の法隆寺金堂壁画の焼損をきっかけに議員立法として昭和25年に成立。

【目的】

文化財を保存し、その活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献すること（第1条）。

【定義】

「文化財」とは「有形文化財」「無形文化財」「民俗文化財」「記念物（史跡・名勝・天然記念物）」「文化的景観」「伝統的建造物群」の6類型をいい（第2条）、文部科学大臣が重要なものを「重要文化財」等に指定する。

【任務と心構え】

- ・ 政府・地方公共団体は、文化財の保存が適切に行われるように、法律の趣旨の徹底に努める責務を有し（第3条）、法律の執行に当たって関係者の所有権その他の財産権を尊重する（第4条③）。
- ・ 一般国民は、政府等が行う措置に協力し、また文化財の所有者等は、文化財を公共のために保存するとともに、できるだけこれを公開するなど文化的活用にも努めなければならない（第4条①、②）。



有形文化財建造物
(国宝瑞龍寺)



有形文化財
(国宝黒韋威胴丸兜 大袖付)



重要無形文化財
(歌舞伎女形)



無形民俗文化財
(青森市ねぶた)



伝統的建造物群と民俗文化財
(岐阜県美濃市)



文化的景観

文化財保護法について②

文化財保護(＝保存＋活用)の法律上のスキーム

○ 国の役割：

- 重要な文化財の指定・選定・登録
- 所有者に対する修理等に関する指示・命令等
- 現状変更等の規制・許可、輸出の制限
- 修理・公開等への補助、税制優遇措置 等

○ 所有者の役割：

- 所有者の変更・毀損・所在変更等に係る届出
- 文化財の管理・修理・公開
- 重要文化財等の国に対する売渡の申出

○ 地方自治体の役割：

- 文化財保護条例の制定
- 国指定を除く文化財の指定 等

※ 罰 則：

- 文化財の損壊・き損、無許可の現状変更・輸出等に対する懲役・禁固・罰金・過料

管理・公開の考え方(重要文化財(建造物・美術工芸品)の例)

※建造物と美術工芸品の指定類型はともに「重要文化財」であり同一の条項で規定されている

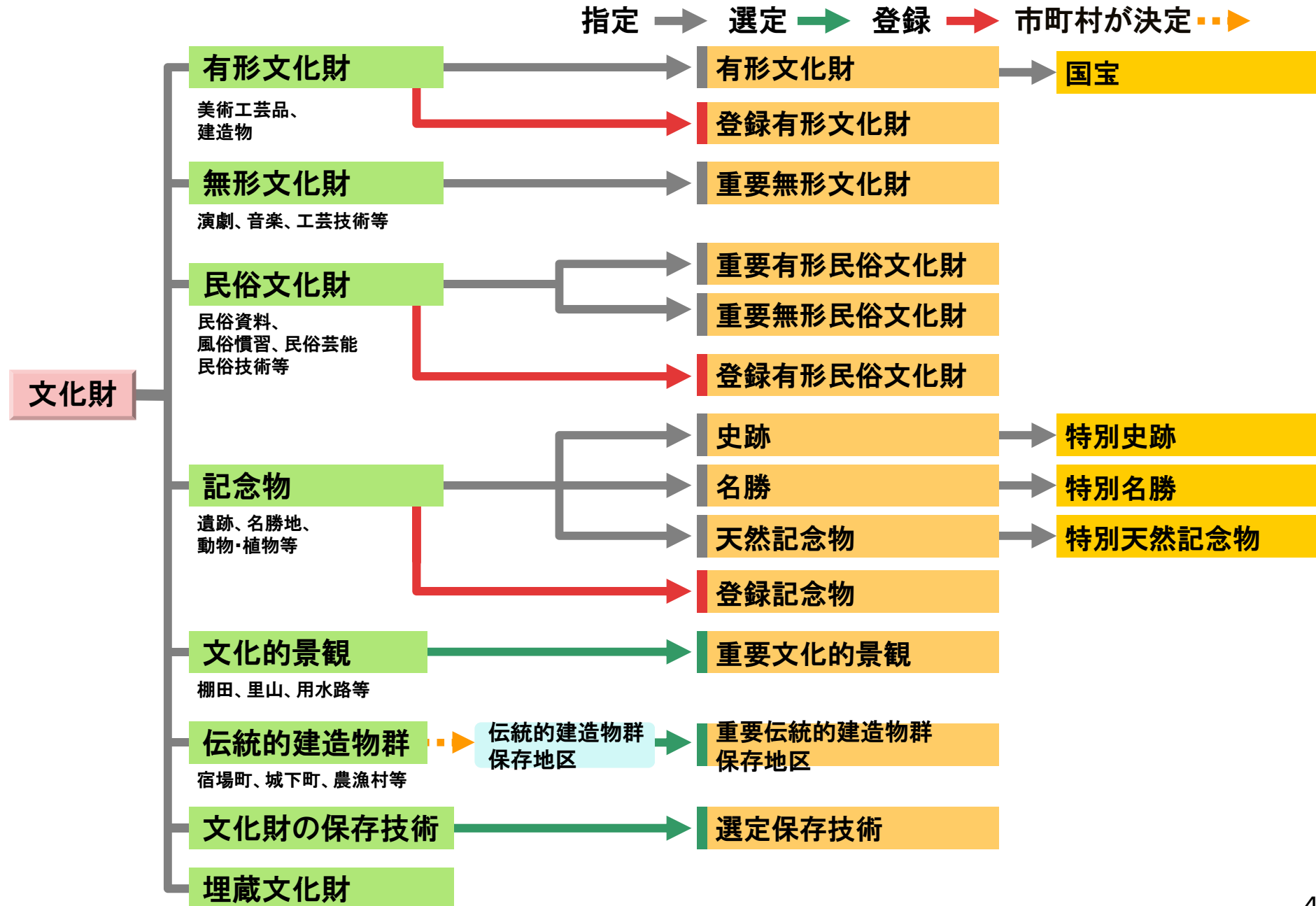
○ 管 理：

- 文化財の管理義務は、所有者が有する。
- 特別な事情のある場合、所有者は自己に代わり管理を行う「管理責任者」を選任できる。
- 所有者・管理責任者による管理が困難等の場合、文化庁長官は「管理団体」を指定できる。

○ 公 開：

- 文化財の公開は、所有者もしくは管理団体が行う。ただし、それ以外の者による公開も妨げない。
- 所有者等以外の公開には文化庁長官の許可を要する。ただし、事前に長官の承認を受けた博物館等（公開承認施設）の場合は事後の届出で足りる。

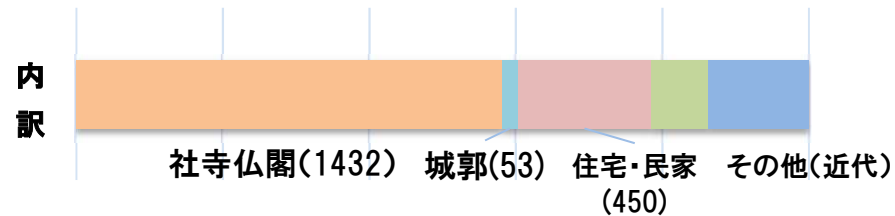
文化財の体系図



文化財の指定状況と所有者・管理団体の割合

H29.5.1現在

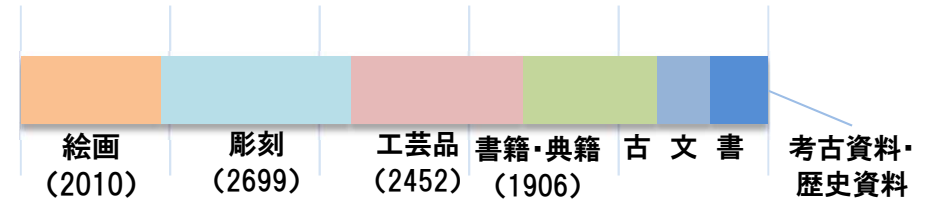
○ 重要文化財建造物 2,465件(うち国宝223件)



所有者・管理団体の割合



○ 重要文化財美術工芸品 10,654件(うち国宝878件)



所有者・管理団体の割合



○ 史跡 1,784件



- 貝塚・古墳等
- 都城跡等
- 社寺跡等
- 交通施設その他経済・生産活動に関する遺跡
- その他

○ 名勝 402件



- 庭園
- 峡谷・溪流
- 海浜
- 山岳
- その他

○ 重要有形民俗文化財 220件

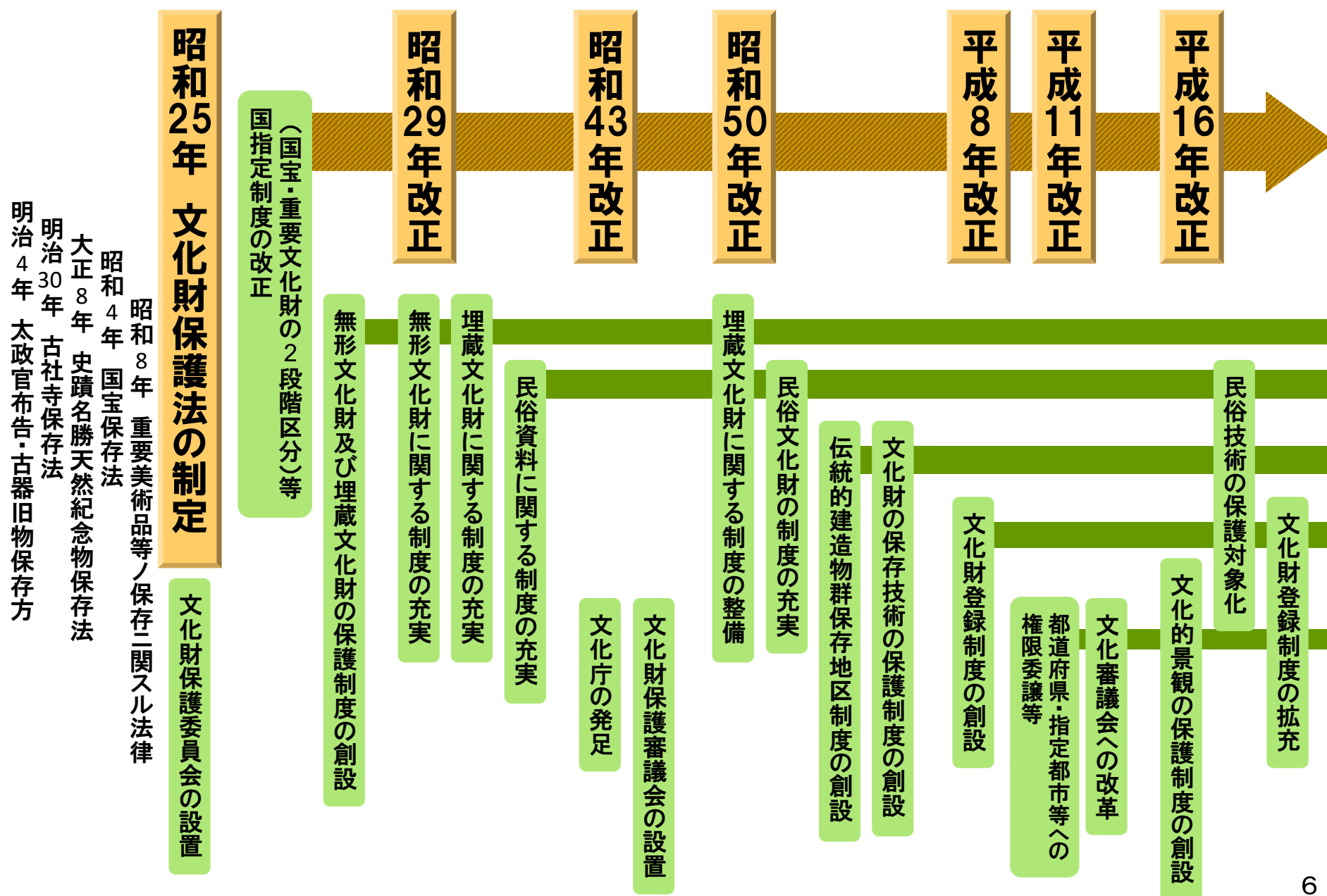
○ 重要無形民俗文化財 303件

○ 天然記念物 1,024件

○ 重要文化的景観 H16～ 50地区

○ 重要伝統的建造物群 S50～ 114地区

【参考】文化財保護法の変遷



～建築物～

社寺



石清水八幡宮

住宅・民家



岡本家住宅

城郭



姫路城

商業施設



岩手銀行

～美術工芸品～

絵画



高松塚古墳壁画

彫刻



銅造釈迦如来倚像

工芸品



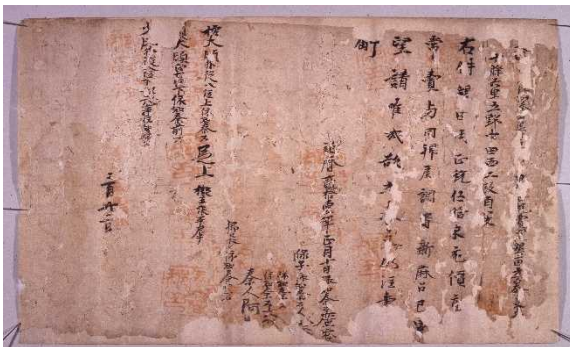
色絵若松図茶壺 仁清作

書跡・典籍



続本朝往生伝

古文書



壺田立券文
〈延暦二十一年正月十日〉

考古資料



流水文銅鐃

歴史資料



葦山代官江川家関係資料



氷川丸

～史跡～

古墳



昼飯大塚古墳(岐阜県)

城跡



史跡根城跡(青森県)



特別史跡江戸城跡(東京都)

交通施設その他経済・生産活動に関する遺跡



史跡草津宿本陣(滋賀県)



高島炭鉱跡端島炭坑跡(長崎県)



史跡萩反射炉(山口県)9

～名勝～

庭園



玄宮楽々園

溪流



巖美溪

山岳



富士山

(写真提供: 静岡県観光協会)

海浜



東平安名崎

～民俗文化財～

有形



大森及び周辺地域の海苔生産用具(東京都大田区)



中山の舞台(香川県小豆島町)

無形



青森のねぶた(青森県青森市)



男鹿のナマハゲ(秋田県男鹿市)

～伝統的建造物群保存地区～



名古屋市有松



鹿島市浜庄津町浜金屋町



三好市東祖谷山村落合



牟岐町出羽島

(写真は各市町より提供) 12

～文化的景観～



段々畑の景観(愛媛県西予市)



養殖筏の景観(岡山県備前市)



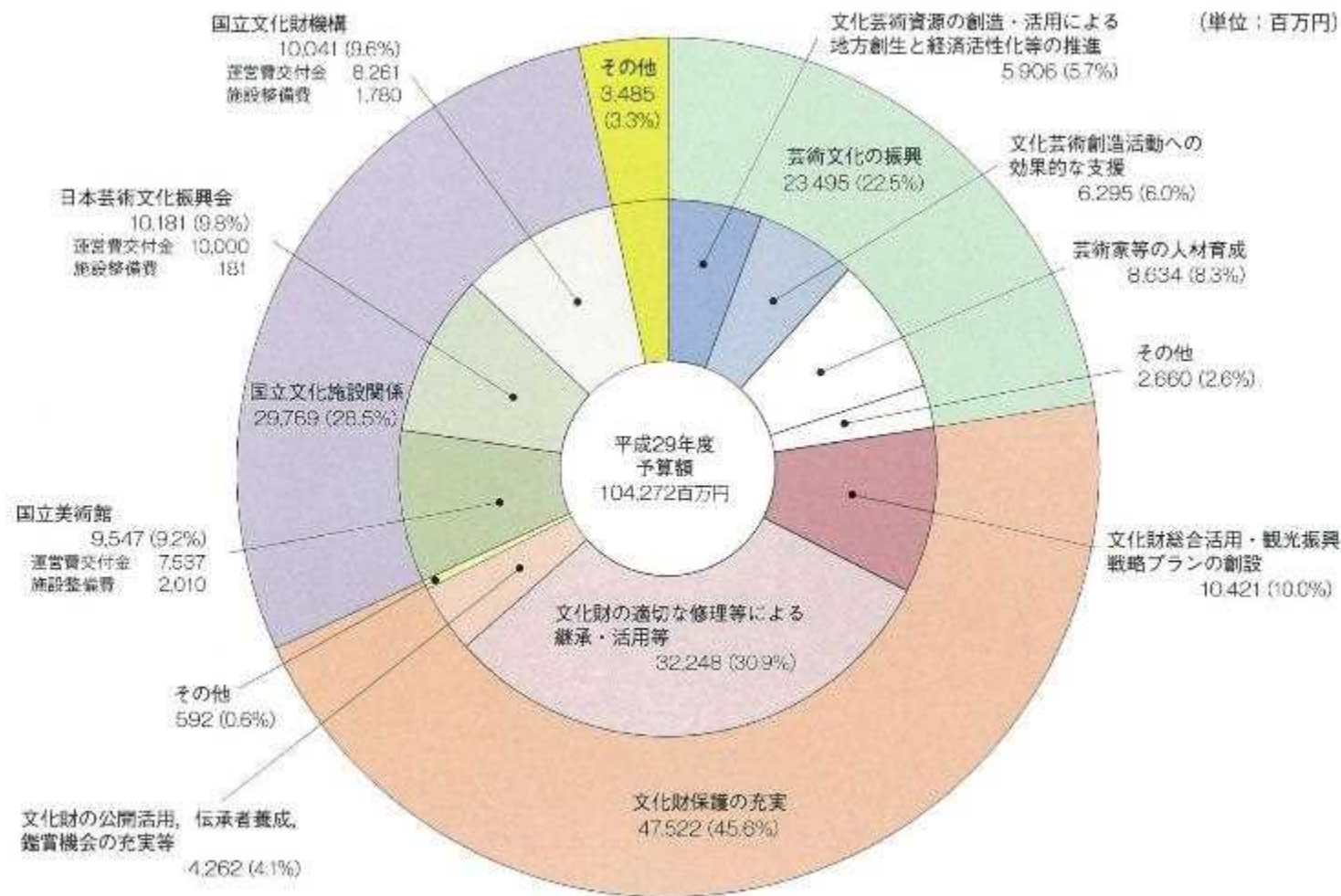
佐渡相川の鉱山及び鉱山町の文化的景観(新潟県佐渡市)



防風石垣の景観(愛媛県愛南町)

予 算

平成29年度文化庁予算〔分野別〕



注1: 単位未満を各々四捨五入しているため、合計額と合致しない場合がある。

税 制

文化財の種類				重要文化財		重要有形民俗文化財	史跡名勝天然記念物	重要文化的景観	重要伝統的建造物群保存地区	登録有形文化財		登録有形民俗文化財	登録記念物	重要文化財等に準ずる文化財	重要美術品等	登録美術品	重要無形文化財の公演のための施設		
税目	優遇措置			美術工芸品	建造物					美術工芸品	建造物								
国 税	所得税	非課税 (土地を除く)	国・地方公共団体等への譲渡	○ 租特法 40の2①	○ 租特法 40の2①														
		1/2課税 (土地を除く)	国・地方公共団体等への譲渡			○ 租特法 40の2② (～H30.12.31)													
		土地に係る譲渡所得の特別控除(2000万円まで)	国・地方公共団体等への譲渡		○ 租特法 34②		○ 租特法 34②												
	法人税	土地に係る譲渡所得の損金算入(2000万円まで)	国・地方公共団体等への譲渡		○ 租特法 65の3①		○ 租特法 65の3①												
	相続税・贈与税	財産評価額の減額(土地を含む)	70/100控除		○ 国税庁 長官通達														
			30/100控除					○ 国税庁 長官通達	○ 国税庁 長官通達										
		物納の優先順位を第3位から第1位に繰り上げ															○ 租特法 70の12		
	地価税	非課税				○ 地価税法6, 別表第1⑦	○ 地価税法6, 別表第1⑦	○ 地価税法6, 別表第1⑦ 地価税令6③		○ 地価税法6, 別表第1⑦ 地価税令6③						○ 地価税法6			
		1/2課税									○ 地価税法17, 別表第2⑤,地 価税令17③			○ 地価税法17, 別表第2⑤,地 価税令17③					
	地 方 税	固定資産税	非課税	家屋			○ 地方税法 348②	○ 地方税法 348②	○ 地方税法 348②		○ 地方税法348 ②,地方税令 49の9						○ 地方税法 348②		
その敷地						○ 地方税法 348②	○ 地方税法 348②	○ 地方税法 348②								○ 地方税法 348②			
1/2課税			家屋						○ 地方税法 349の3⑫,地方 税令52の3の3			○ 地方税法 349の3⑫	○ 地方税法 349の3⑫	○ 地方税法 349の3⑫				○ 地方税法附 則15⑮(～ H29.12.31)	
			その敷地						○ 地方税法 349の3⑫					○ 地方税法 349の3⑫				○ 地方税法附 則15⑮(～ H29.12.31)	
適宜免除・軽減			その敷地								○ 自治省固定資産 税課長通知								
																		15	
取得不動産		1/2課税																○ 地方税法附 則11⑩(～ H29.12.31)	

文化財の保存修理・整備について

建造物(木造) 建造物(煉瓦造) 美術工芸品 史跡(城跡) 史跡(社寺跡) 名勝(庭園) 伝統的建造物群 文化的景観

(事例)



和田家住宅
(白川郷)

旧富岡製糸場
東置繭所

八橋蒔絵螺鈿硯箱
(東京国立博物館)

横須賀城跡
(掛川市)

相模国分寺跡
(海老名市)

旧諸戸氏庭園
(桑名市)

美馬市脇町南町

姨捨の棚田
(千曲市)

(保存手法例)

○解体修理
○屋根葺替
○塗装修理
○防災対策
○防犯対策等

○部分修理
○屋根葺替
○防災対策
(特に耐震対策)
○防犯対策等

○修理
○保存箱・台座等
の新調・修理
○収蔵庫整備等

○石垣等復旧
○整地盛土等
○復元建造物等
の防災対策等

○整地・石積等
○給排水施設等
整備
○標識等設置等

○剪定・植栽
○雑木雑草除去
○土砂災害防止
○建造物の耐震
対策等

○解体・部分修理
○修景
○防災対策
○防犯対策等

○石垣等復旧
○建造物修理
○修景
○標識等設置
○防災対策等

(整備手法例)

○保存活用計画
の策定
○便益・展示施設
等の整備
○外観美装化等

○保存活用計画
の策定
○便益・展示施設
等の整備等

○保存活用施設、
展示設備、解説
用設備の整備等

○展示施設整備
○模型等の製作
○復元的整備
○野外観測・体験
活用施設整備等

○史料に基づく歴
史的建造物の復
元
○ガイダンス施設
整備等

○説明板・休息施
設・便益施設設置
○模型等の製作
○復元的整備等

○便益・展示施設
等の整備等
○修景、敷地内
整備等

○説明板・便益施
設設置
○構成要素物件
の修景等

文化財保存事業(国庫補助事業)※補助率50～85%

○建造物の保存修理等

(保存修理事業、防火・防犯対策、耐震対策事業など)

→「国宝・重要文化財建造物保存修理強化対策事業」年間120件程度
「防災・耐震対策重点強化事業」年間90件程度 など

○伝統的建造物群基盤強化

(定期的な修理、耐震対策・防災施設等の整備)

→「保存改修」「防災施設等」年間100件程度

○美術工芸品の保存修理等

(保存修理事業、防災施設、保存活用施設の整備など)

→「保存修理」年間160件程度
「防災施設」「重要文化財等保存活用整備事業」年間20件程度 など

○史跡等の保存整備・活用等

(保存整備、活用、公有化など)

→「歴史生き生き！史跡等総合活用推進事業」年間440件程度
「史跡等の買い上げ」年間150件程度 など

※画像出典は全て国指定等文化財等データベース

文化財建造物の修理

国宝・重要文化財(建造物)を次世代に継承するための修理や、自然災害等から護るための防災施設等の整備、耐震対策等に対する補助を行う。

(破損・劣化の例)



雨漏りによる部材の腐朽
杵原八幡宮本殿(大分県)



経年による茅葺屋根の腐朽
平等寺薬師堂(新潟県)



経年による彩色塗装の劣化
東照宮唐門(東京)

(修理前と修理後)



慈眼寺庫裏(山梨県)

国宝・重要文化財(建造物)保存修理(一般)の例 諏訪大社上社本宮幣殿ほか5棟

信濃国一宮として古くから崇敬を集めている古社で、七年毎に行われる御柱祭は全国的に著名。神社は上社と下社に分かれ、上社はさらに前宮と本宮よりなる。

修理前



修理後



- ・所 在: 長野県諏訪市
- ・対 象: 幣殿、拝殿、左右片拝殿(2棟)、脇片拝殿、四脚門
- ・形 式: 幣殿 正面一間、一重、檜皮葺
拝殿 桁行一間、梁間一間、一重、向唐破風造、檜皮葺
- ・概 要: 経年による屋根や銕金具の劣化。屋根葺替(銅板葺から檜皮葺に変更)と破損部の修理。
- ・工 費: 2億650万円、修理工事報告書刊行
- ・期 間: 平成24年12月～平成27年8月(33ヵ月)

国宝・重要文化財(美術工芸品)保存修理(一般)の例 国宝紙本著色源氏物語絵巻

12世紀に描かれた現存する最古の絵巻物。全部で4巻分が残っており、3巻15場面を徳川美術館、1巻4場面を東京の五島美術館が所蔵している。

修理前



全体的にしわや汚損が目立つ

修理後



- ◎事業者
(公財) 徳川黎明会 徳川美術館(愛知県名古屋市)
- ◎近年の修理における国庫補助事業の状況
 - ・期 間: 平成24~27年度
 - ・総事業費: 2,160万円
 - ・国庫補助: 1,188万円(55%)
 - ・修理内容: 解体、剥落・剥離止、裏打紙除去、汚れ除去、補修紙作成等

特別企画 国宝 源氏物語絵巻

会期 平成27年11月14日(土) ~ 12月6日(日)

入場者数 51,146人

主催 徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・中日新聞社・日本経済新聞社・NHK名古屋放送局



美術工芸品の公開活用実績等

○展覧会等への出品による公開実績(国宝・重要文化財)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
展覧会数	220件	202件	201件
出品件数	1,457件	1,192件	1,189件

○国立博物館における展覧会の開催件数・入場者数(国宝・重要文化財が出品されたもの)※1

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
開催件数	10件	10件	12件
のべ入場者数	約135万人	約110万人※2	約131万人※2
展覧会例	・特別展「修理完成記念 国宝 鳥獣戯画と高山寺」 ・特別展「国宝 醍醐寺 のすべて－密教のほとけ と聖教－」ほか	・特別展覧会「桃山時代 の狩野派－永徳の後継 者たち－」 ・特別展「みちのくの仏 像」ほか	・特別展「春日大社一千 年の至宝」 ・特別展「国宝 信貴山 縁起絵巻－朝護孫子寺 と毘沙門天王信仰の至 宝－」ほか

※1 東京国立博物館、京都国立博物館、奈良国立博物館、九州国立博物館の合計。

※2 一部、平常展の一部として開催している特別展については計上されていない。

○公開活用に伴うき損事例

- ・海外展に出品していた国宝の巻物を展示替えのため撤収した際に、八双を包む絹地部の亀裂が拡大
- ・建物の庭を会場とした公演の準備中、突然の降雨により急遽屋内へ会場を変更し、準備のために資材等を運び入れた際に、重要文化財の襖絵が一部陥没 等

史跡の整備

歴史上、学術上価値の高い史跡等について、保存と活用を図るための事業を行う
所有者、管理団体等に対する補助を行う。

便益施設



九谷焼窯跡(石川県加賀市)

活用事業(建物復元体験)



ガイダンス施設



旧池田氏庭園(秋田県大仙市)



八王子城跡(東京都八王子市)



地藏田遺跡(秋田県秋田市)



姉川城跡(佐賀県神埼市)

史跡等の復旧

自然災害等により劣化・破損した史跡等の現状への復旧について補助を行う。



史跡 松前藩戸切地陣屋跡(北海道北斗市)



名勝 旧池田氏庭園(秋田県大仙市)



史跡 福岡城跡(福岡県福岡市)

史跡復旧の例 小峰城跡

奥州白河藩主歴代の居城として築城された近世城郭の一つで、石垣を多用した江戸時代の城郭の姿を良好に残し、我が国近世の政治・軍事を知る上で重要な遺構。東日本大震災により甚大な被害を受けたため、現在、石垣等の復旧を行っている。

復旧前



復旧後



◎事業者
白河市

◎国庫補助事業の状況

・期 間：平成24年度～

・修理内容：月見櫓・本丸西面・本丸北面・雪見櫓・帯曲輪北面石垣修理等

歴史文化を活かしたまちづくりの推進施策

歴史文化基本構想(H19～)

文化財を核として、地域全体を歴史文化の観点から捉え、各種施策を統合して歴史・文化を活かした地域づくりを進めるための地方公共団体の基本的な構想。

(H19文化審議会企画調査会で提言)

【策定件数】 57計画 (60市町村) H29.3時点

【構想に記載する事項(例)】

- ・ 地域の歴史文化の特徴
- ・ 文化財把握の方針
- ・ 保存・活用の基本方針
- ・ 関連文化財群
- ・ 歴史文化保存活用区域
- ・ 保存活用計画作成の考え方
- ・ 保存活用の体制整備の方針



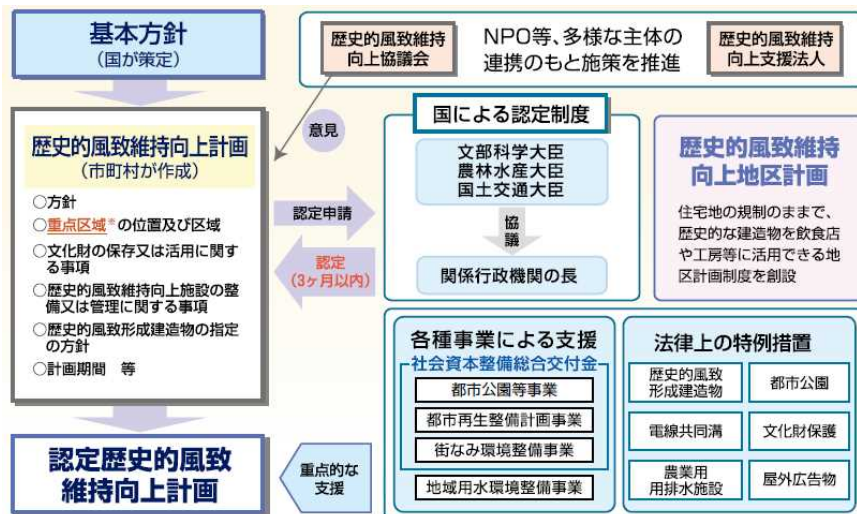
(文科省・国交省・農水省の共管)

歴史まちづくり法(H20～)

「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」

地域固有の歴史・伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史的建造物等が一体となって形成する良好な市街地の環境である「歴史的風致」を保護。

【認定件数】 62件 H29.3時点



(※) 重要文化財建造物等の周辺など

日本遺産(H27～)

地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定。認定地域の魅力発信等を推進。

歴史文化基本構想策定又は歴史的風致維持向上計画の認定などが認定申請の要件(複数地域による「シリアル型」を除く)。

【認定件数】 54件 H29.5時点

【認定ストーリーのポイント】

- ・ 歴史的経緯や地域で受け継がれる伝承・風習等を踏まえていること
- ・ ストーリーの中核に明確なテーマを設定し、建造物や遺跡・名勝地、祭りなど、地域に根ざして継承・保存がなされている文化財にまつわるものが据えられていること。
- ・ 単に文化財の価値を解説するだけのものになっていないこと。



文化財活用・理解促進戦略プログラム2020の策定について（1）（概要）

平成28年3月にとりまとめられた「明日の日本を支える観光ビジョン」を踏まえ、文化財を貴重な地域・観光資源として活用するために、2020年までに取り組むアクションプログラムを策定。

目指すべき将来像

○文化財を中核とする観光拠点の整備

大内宿の茅葺き民家群再生（福島県）

- ・地域の文化財の一体的整備を計画的に行い、観光中心の産業構造へ転換
- ・観光客数は20年間で約100万人増加
- ・収益が修理につながる循環型の文化財保存・活用事業の継続、地元技術者の育成



○投資リターンを見据えた文化財修理・整備の拡充と美装化

姫路城天守の大規模改修

- ・総事業費30億円
- ・観覧料収入
2.9億円（H26）
→ 18.7億円（H27）

美装化



修理中もガイダンス施設を設置



○分かりやすい解説と多言語対応



日光東照宮新宝物館

- ・東照宮の歴史や徳川家康の生涯をビデオ等を用いて分かりやすく解説
- ・全ての展示品は、日本の歴史を知らない外国人でも理解できる英語解説がされている

○歴史的建造物の活用促進

西日本工業倶楽部会館

- ・国指定重要文化財を結婚式場等に活用



○文化財を ユニークベニュー とした文化イベント



姫路城での オペラ上演



現状・課題及び今後の対応

現状・課題

- 個々の文化財を点として保存
- 日本人でも理解が困難な、専門家にしか分からない解説
- 修理遅れによる資産価値の低下・劣悪な外観

プログラムのポイント

2020年までに、以下の取組を**1000事業**程度実施し、日本遺産をはじめ、**文化財を中核とする観光拠点**を**全国200拠点**程度整備。

○ 支援制度の見直し

- ・ 支援に当たり**観光客数等を指標に追加**
- ・ 地域の**文化財を一体的に整備・支援**
- ・ **適切な修理周期**による修理・整備
- ・ 観光資源としての**価値を高める美装化**への支援
- ・ **修理現場の公開**（修理観光）や、**修理の機会をとらえた解説整備**への支援 等

○ 観光コンテンツとしての質向上

- ・ 分かりやすい**解説の充実・多言語化**
- ・ **宿泊施設やユニークベニュー等への観光活用**を促進
- ・ 学芸員や文化財保護担当者等に対する**文化財を活用した観光振興に関する講座の新設**、質の高い**Heritage Manager等の養成と配置**
- ・ 全国の文化財等の情報を発信する**ポータルサイト**の構築
- ・ 美術館や博物館における**参加・体験型教育プログラム**等への支援、二ーズを踏まえた**開館時間の延長**
- ・ **文化プログラム**をはじめとする**文化芸術活動との連携** 等